

# はなしょうぶ

-第10号-

地域の中で誰もが支え合い  
こころ豊かにくらしませう



スケッチに  
はらもりの桜描きては  
春感じつつ暦をめくる

佐々木 新一 作

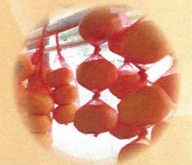


発行 社会福祉法人鶴岡市社会福祉協議会  
グループホームはちもり  
発行責任者 小林芳昭

〒999-7463 TEL 0235-64-0122  
鶴岡市三瀬字菖蒲田 64-2 FAX 0235-73-3955



# 誰もが自分らしく 希望をもった暮らしができるように



・花しょうぶユニット  
・さくらユニット



## ここで皆と仲良く暮らしたい。

自宅ではないけれど、自宅のように暮らしたい。入居後、はちもりで新しい出会いや行事、個別の買い物、誕生日会などを楽しんでいる入居者様が多くいらっしゃいます。私たちは、入居者様一人ひとりに合わせた個別支援を心がけています。

## どんな暮らしがしたいですか

はちもりでは、入居者様一人ひとりの声に耳を傾け、その方の心の中を読み解きながら、やってみたいことが日課や生きがいとなるよう支援しています。

## 生きがいにしていることはありますか



## まだまだ現役なんです。

入居者様の得意なことや身体状態を考慮し、役割が仕事と感じて頂けるように支援しています。洗濯物をたたむ際には名前を見て仕分けをしたり、モップ掛けでは床の汚れを見て腰をかがめて拭き取ったりと、職員も驚くほどの発見がたくさんあります。入居者様ができることを大切に、生きがいにつなげたいと考えています。

## こだわっていることはありますか



## 何気ない日常の中でも一人ひとりのこだわりを大切にします。

朝は布団の中で体操をしたい、昼寝をする時はパジャマに着替えたい、人前にはお化粧をしたい、好きな場所で好きな人と過ごしたい。こうした入居者様の願いや思いが日常になるように、私たちは見守り支援しています。

## 手伝って欲しいことはありますか



## 自己実現・夢の追求のために

入居者様の皆さんの声を大切に、石碑の本を出版したい、おじいさんに会いたい、畑仕事をしたい、お祭りや作品展に出掛けたいといった希望に耳を傾けています。私たちは少しでもお手伝いすることで、お祭りの綿あめや焼きそばがいつも以上に美味しく感じられたり、外泊や外出で地域とのつながりが深まり、新たな目標が生まれることを願い支援しています。

## 避難訓練

## いざという時に備えて

津波発生訓練と夜間の火災を想定した避難訓練を行いました。  
夜間想定訓練では地域の協力員さんの御協力のもと短時間で避難することが出来ました。  
日中は入居者様同士でアルファ米を炊いて炊き出しの訓練も行いました。



## 家族交流会

## 活動報告会&芋煮会を開催しました

自分の家族に美味しい芋煮をご馳走したい。  
前日から買い物や調理の下ごしらえと皆さん一生懸命頑張りました。  
職員も一緒に楽しいひと時となりました。



### ご家族様より

- 地元のお祭りに出掛けたり楽しそうに暮らしている。お便りの写真から暮らしぶりも分かりここにお世話になり良かった。
- 自宅で介護してた頃は頭にくることもあった。ここに来て笑顔が多くなり今は別人のようだ。
- 風呂嫌いだったが入れるようになった。
- 本人は家に帰りたのかと思ったがそうでもないようで安心した。皆さんと和気あいあいに行っているようで安心した。



温かいお言葉ありがとうございました。これからもご家族様から信頼される施設を目指していきます。

## あしがき

周囲の山々は雪景色に包まれ、季節の移り変わりを感ずる今日この頃です。はちもりでは、入居者様がお一人おひとりの想いを大切に、時には悩みながらもご家族様の温かい言葉に励まされて進んでまいりました。また、地域のボランティアの方々や子供たちも多くの交流を持つことができて、はちもりは職員だけでなく、多くの方々に支えられていることを実感しております。皆様の温かいご支援に深く感謝し、この後書きとさせていただきます。

